



## 板橋区の公共施設を考える

こんにちは！

自由民主党政務委員の中村とらあきです。

まだまだ寒い日が続いています。

先日は雪が降り、道路が凍結して滑りやすくなっていて、見事に転んでしまいました。みなさん、転ばないように気をつけてください。

今日は板橋区がかかえる問題の一つである、老朽化する公共施設について考えてみたいと思います。

自民党政務委員  
中村 とらあき

### 老朽化する公共施設はどうなるの？



老朽化した公共施設として代表的なのが、板橋区立中央図書館です。移転先をどうするのか、どのような施設にするのか、また跡地はどうするのか、などなどまだ決まっていないことがたくさんあります。法律上、現在の常盤台公園内で建て替えるならば、延床面積が約半分になってしまうという話もあります。



朝の駅頭にて。

### 老朽化する学校はどうなるの？

#### 1. 魅力ある学校づくり

これからの学校教育に欠かせない「ICT化」「少人数学習」や主体的学習形態等の多様な教育手法に対応できる施設環境に整備していくとともに、東日本大震災以降に再認識されている災害時に学校が地域に果たす役割について対応していく必要がある。

魅力ある学校づくりとは…これからの社会に求められる学校を創っていくための計画

#### 〔魅力ある学校施設整備の目標〕

○板橋区のためずす学校教育を支える施設整備      ○学校施設の今日的課題への対応

⇒魅力ある学校施設とは

- ①教育環境の充実      ②生活・運動環境の充実      ③学校と地域の連携
- ④環境への配慮      ⑤災害に強い学校      ⑥バリアフリー

#### 〔教育上望ましい学校規模と改築〕

改築の際には、小・中学校共に12学級から18学級を基本に整備



将来にわたって“教育上望ましい規模”が維持される集団としての教育機能が最大限に発揮

一方、老朽化する校舎については、計画が進んでいます。平成26年に板橋区教育委員会が発表では災害に強い学校であるとともに、今後の学校教育を見据えた施設環境の整備、地域との連携など包括的なビジョンをもちながら改築や改修、あるいは学校統合などを進めることを打ち出しています。公共施設の老朽化は単なる建物の話ではないということがわかります。

# 今後、公共施設をどうしていくのか？

今後、老朽化する公共施設をどうしていくのかは、明確なビジョンが必要とされます。これまで学校は高度経済成長時にたくさん作られ、当時では十分な役割を果たしました。しかしながら、今後はグローバル化や社会の複雑化にともまない、多様な教育方法を少数の生徒に教えていくようになるでしょう。同じように図書館をはじめとする地域の公共施設にもはっきりしたビジョンをもって移転するのか、改築するのかなど、地域の人々の合意形成を制度的に吸い上げるながら進める必要があります。

公共施設は地域のあり方に大きな影響を与えるものであり、同時に、町づくりの要となる重要な施設です。今後、制度的にも地域の声が反映できる制度を構築する必要があります。



昭和11年 常盤台住宅地案内図



お正月の元旦に賑わう天祖神社境内

## 中村とらあき プロフィール

- 出身地 板橋区常盤台
- 生年月日 1971年8月3日(43歳)
- 主要学歴  
帝都幼稚園・常盤台小学校・上板橋第一中学校・都立北園高等学校・聖学院大学・慶應義塾大学(政治学修士)・ソウル国立大学(行政学博士)
- 職歴  
下村博文事務所(秘書)・早稲田大学(訪問学者)・法政大学大学院(講師)・Sol-Bridge大学(助教授)・㈱中村総合研究所(役員)
- 社会活動  
日本政府会計学会(国際交流)・日本政治学会・日本地方政治学会・軍事史学会
- 著書:『公共経営と公会計改革』共著・『グローバル財政論』共著など。



### あの日の一枚(2)

BIA東京板橋支部新年会でご挨拶。とても華やかな新年会でした。みなさま、有難うございました。

連絡先  
〒174-0071 板橋区常盤台1-11-17  
TEL/FAX 03-3960-3676  
携帯 070 - 5583 - 3865  
Mail tora1971@hotmail.com

あなたの町の  
**「とらさん」**  
いたばし区から日本を良くしよう！  
facebook.com/toraaki.nakamura

